

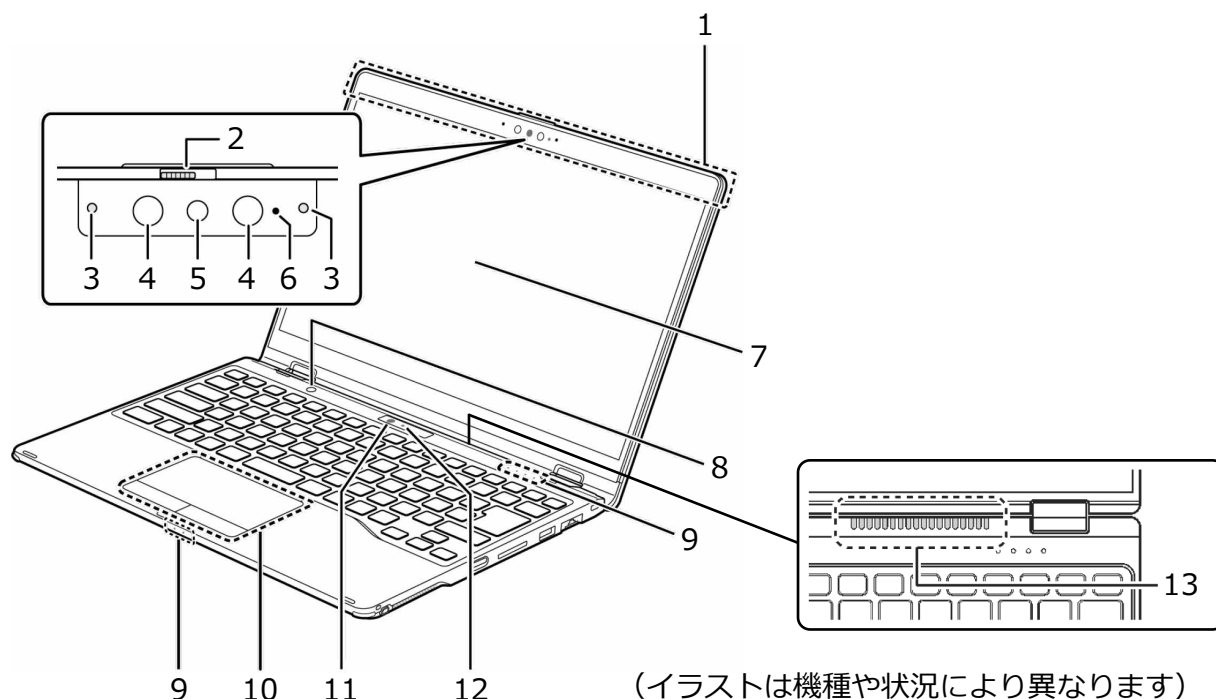
各部の名称と働き

各部の名称と働きについて説明しています。
お使いの機種にあわせてお読みください。

パソコン本体前面.....	2
パソコン本体右側面.....	6
パソコン本体左側面.....	9
パソコン本体下面.....	14
状態表示 LED.....	16
キーボード	18
マウス	22

パソコン本体前面

LIFEBOOK WU3/G2



1 無線 LAN・Bluetooth ワイヤレステクノロジー兼用アンテナ

無線 LAN と Bluetooth ワイヤレステクノロジー兼用のアンテナが内蔵されています。

Point

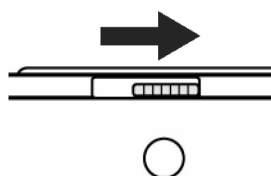
- ▶ 無線 LAN、Bluetooth ワイヤレステクノロジーについて、詳しくは「使いこなすために」－「通信」をご覧ください。

2 プライバシーカメラシャッター

ご購入時の状態から下図の矢印の方向にスライドすると、Web カメラがふさがり映像が映らなくなります。

オンライン会議で一時的に映像を映したくないときなどに便利です。

シャッターを元に戻すと映像が映るようになります。



3 内蔵マイク

マイクを使うアプリで 사용합니다。

4 顔認証用赤外線発光部

顔認証利用時に赤外線を発光します。

5 顔認証対応フロント Web カメラ

カメラを使うアプリで使います。

また、Windows Hello でのサインインでも使います。詳しくは「使いこなすために」－「Windows Hello」をご覧ください。

6 フロント Web カメラ状態表示 LED

フロント Web カメラが動作しているときに点灯します。

7 ディスプレイ

入力した内容や、パソコン内のデータなどを表示します。画面に触れて操作することができます（「取り扱い」－「タッチ機能」）。



- ▶ 次のようなときに、画面にムラが発生する場合があります。
 - ・ディスプレイに強い圧力が加わったとき
 - ・タッチ操作を行ったとき

8 ショートカットボタン

「クイックメモ for Pen」を起動します。

9 状態表示 LED

パソコンの状態を表示します（→P.16）。

10 フラットポイント

マウスポインター（）を操作します。詳しくは「取り扱い」－「フラットポイント」をご覧ください。

ノートブックモード以外では使用できません（「取り扱い」－「タブレットモード」）。

11 リア Web カメラ

静止画や動画を撮影するときに使います。

12 リア Web カメラ状態表示ランプ

リア Web カメラが動作しているときに点灯します。

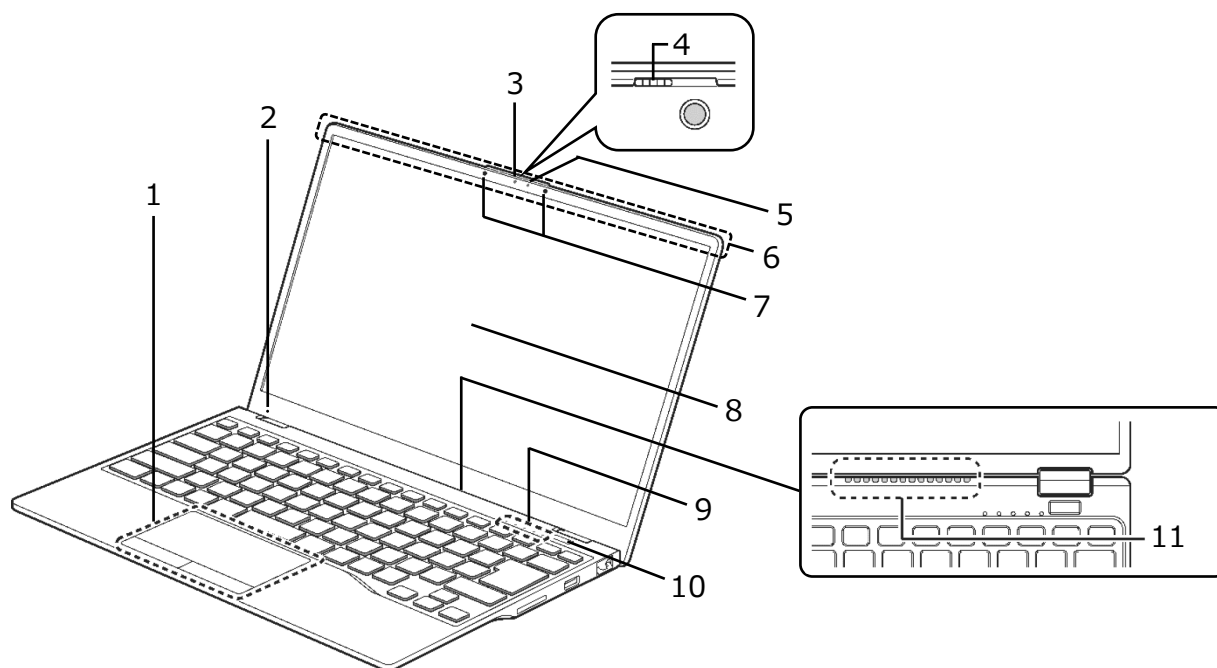
13 排気孔

パソコン本体内部の熱を外部に逃がします。



- ▶ 排気孔周辺は熱くなるので、パソコン使用中は触らないでください。

■ LIFEBOOK UH-X/G2、UH90/G2、WU-X/G2、WU2/G2



(イラストは機種や状況により異なります)

1 フラットポイント

マウスポインター（) を操作します。詳しくは「取り扱い」－「フラットポイント」をご覧ください。

2 明るさセンサー

周囲の明るさを検知します。



- ▶ 明るさセンサーをテープやシールなどでふさがないでください。

3 Web カメラ

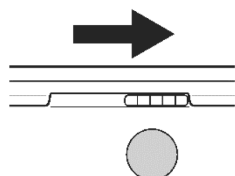
カメラを使うアプリで使用します。

4 プライバシーカメラシャッター

ご購入時の状態から下図の矢印の方向にスライドすると、Web カメラがふさがり映像が映らなくなります。

オンライン会議で一時的に映像を映したくないときなどに便利です。

シャッターを元に戻すと映像が映るようになります。



5 Web カメラ状態表示 LED

Web カメラが動作しているときに点灯します。

6 無線 LAN・Bluetooth ワイヤレステクノロジー兼用アンテナ

無線 LAN と Bluetooth ワイヤレステクノロジー兼用のアンテナが内蔵されています。

Point

- ▶ 無線 LAN、Bluetooth ワイヤレステクノロジーについて、詳しくは「使いこなすために」－「通信」をご覧ください。

7 内蔵マイク

マイクを使うアプリで使用します。

8 ディスプレイ

入力した内容や、パソコン内のデータなどを表示します。タッチパネル搭載機種では、画面に触れて操作することができます（「取り扱い」－「タッチ機能」）。

Point

- ▶ タッチパネル搭載機種では、次のようなときに、画面にムラが発生する場合があります。
 - ・ディスプレイに強い圧力が加わったとき
 - ・タッチ操作を行ったとき

9 状態表示 LED

パソコンの状態を表示します（→P.17）。

10 電源ボタン／指紋センサー (Ⓘ)

この部分を押し込むと Windows がスタートします。詳しくは「取り扱い」－「電源の入れ方／切り方」をご覧ください。

この部分を押し込まずに触れることで指紋センサーとして動作します。指紋センサーは、Windows Hello でのサインインでも使用できます。詳しくは「使いこなすために」－「Windows Hello」をご覧ください。

11 排気孔

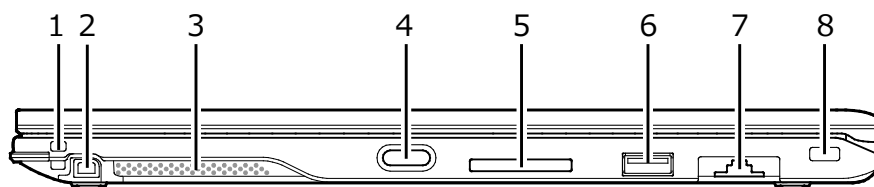
パソコン本体内部の熱を外部に逃がします。

Point

- ▶ 排気孔周辺は熱くなるので、パソコン使用中は触らないでください。

パソコン本体右側面

■ LIFEBOOK WU3/G2



(イラストは機種や状況により異なります)

1 ペンひも取り付け穴

詳しくは「取り扱い」－「タッチ機能」－「タッチ機能をお使いになるうえでの注意」－「■ペンをお使いになるときの注意」をご覧ください。

2 ペンホルダー（ペン）

このパソコンに添付のペンを収納します。詳しくは「取り扱い」－「タッチ機能」－「タッチ機能をお使いになるうえでの注意」－「■ペンをお使いになるときの注意」をご覧ください。

3 スピーカー

パソコンの音声を出力します。詳しくは「取り扱い」－「音量」をご覧ください。

4 電源ボタン (⏻)

Windows をスタートします。詳しくは「取り扱い」－「電源の入れ方／切り方」をご覧ください。

5 ダイレクト・メモリスロット (SD)

SD メモリーカードを差し込みます。miniSD カードなどは、アダプターを使用してください。詳しくは「取り扱い」－「メモリーカード」をご覧ください。

6 USB3.2 (Gen1) Type-A コネクタ (●🔌)

USB 規格の周辺機器を接続します。

接続した USB 機器の動作は、周辺機器や間に接続されている USB ハブやケーブルの性能に依存します。

Type-C コネクタは、形状が異なるため接続できません。

7 LAN コネクタ (📶)

LAN ケーブルを接続します。接続するときは、LAN コネクタを引き出します。

LAN コネクタをお使いになる場合は「LAN コネクタの使い方」(→P.7) をご覧ください。

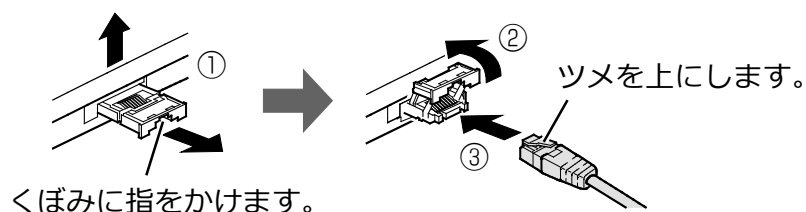
8 盗難防止用ロック取り付け穴 (🔒)

市販の盗難防止用ケーブルを接続します。

□ LAN コネクタの使い方（LIFEBOOK WU3/G2 をお使いの場合）



- ▶ LAN コネクタは、次のように引き出してからお使いください。
 - ① パソコン本体の LAN コネクタ側を持ち上げ、LAN コネクタを引き出します。
 - ② LAN コネクタを上引き上げます。
 - ③ LAN コネクタに LAN ケーブルを接続します。

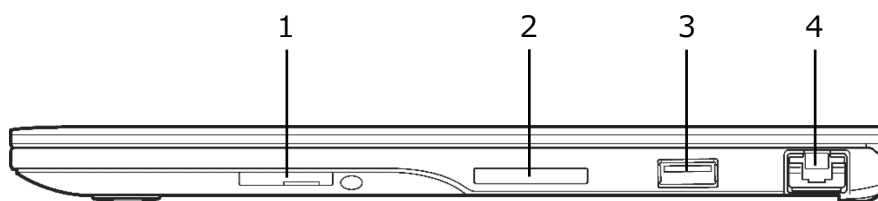


- ▶ LAN コネクタを強く引き出すと外れる場合がありますが故障ではありません。外れた場合は、パソコンの電源を完全に切ったあと（「取り扱い」－「電源の入れ方／切り方」－「パソコンの電源を完全に切る」）、LAN コネクタを差し込み直してください。



- ▶ 次の場合、LAN コネクタをパソコン本体に完全に押し込んでください。
 - ・ LAN ケーブルを接続しない場合
 - ・ パソコンを持ち運ぶ場合
 LAN コネクタを引き出したままにしておくと破損などの原因となります。

■ LIFEBOOK UH-X/G2、UH90/G2、WU-X/G2、WU2/G2



(イラストは機種や状況により異なります)

1 nanoSIM カードスロット (無線 WAN 搭載機種のみ搭載)

無線 WAN をお使いになる場合に nanoSIM カードをセットします。詳しくは「取り扱い」－「nanoSIM カード」をご覧ください。

2 ダイレクト・メモリスロット (SD)

SD メモリーカードを差し込みます。miniSD カードなどは、アダプターを使用してください。詳しくは「取り扱い」－「メモリーカード」をご覧ください。

3 USB3.2 (Gen1) Type-A コネクタ (USB)

USB 規格の周辺機器を接続します。

接続した USB 機器の動作は、周辺機器や間に接続されている USB ハブやケーブルの性能に依存します。

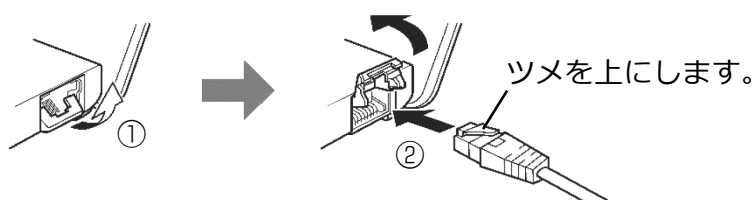
Type-C コネクタは、形状が異なるため接続できません。

4 LAN コネクタ (RJ45)

LAN ケーブルを接続します。

LAN コネクタは、次のようにしてお使いください。

- ①パソコン本体の LAN コネクタ側を持ち上げ、LAN コネクタを上引き上げます。
- ②LAN コネクタに LAN ケーブルを接続します。

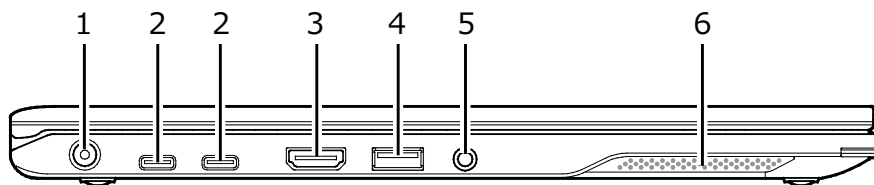


使用している LAN ケーブルによっては、LAN コネクタのツメが LAN コネクタに固定できない場合があります。この場合、無理に固定しようとせず、LAN コネクタが抜けないように注意しながら、そのままお使いください。

また、LAN コネクタを使用した後は、LAN コネクタを元の位置に戻してください。LAN コネクタを引き上げたままお使いになると、LAN コネクタの破損の原因となる場合があります。

パソコン本体左側面

LIFEBOOK WU3/G2



(イラストは機種や状況により異なります)

1 DC-IN コネクタ (==)

添付の AC アダプタを接続します。

2 USB3.2 (Gen2) Type-C コネクタ (●⇄¹⁰ ⚡)

USB 規格の周辺機器を接続します。

接続した USB 機器の動作は、周辺機器や間に接続されている USB ハブやケーブルの性能に依存します。

コネクタの形状によっては、隣接するコネクタと同時に使用できないことがあります。

Type-A コネクタは、形状が異なるため接続できません。

Point

- ▶ USB Power Delivery 対応です（映像も出力できます）。
- ▶ USB Power Delivery 対応機器へ給電（最大 5V/1.5A）できます。
- ▶ USB Power Delivery 対応で 7.5W（5V/1.5A）以上を供給可能な機器であれば、パソコン本体に充電できます。パソコンを使用しながら充電する場合は、AC アダプタもしくは USB Power Delivery 対応で 45W（20V/2.25A）以上を供給可能な機器が必要です。ただし、すべての対応機器の動作を保証するものではありません。
また、次のような場合は、パソコンを充電していてもパソコンのバッテリーが減ることがあります。
 - ・パソコンが動作している（高負荷処理を行っているなど）
 - ・接続機器への給電電力が大きい（消費電力の大きな機器を複数接続しているなど）
- ▶ 接続した USB 対応機器の転送速度（理論値）は次のとおりです。
 - ・USB3.2 (Gen2)対応機器：最大 10Gbps
 - ・USB3.2 (Gen1)対応機器：最大 5Gbps
 - ・USB2.0 対応機器：最大 480Mbps
- ▶ DisplayPort Alternate Mode 対応です。ただし、すべての DisplayPort の動作を保証するものではありません。
- ▶ USB Type-C コネクタを使った同時表示やマルチモニター表示などについては、「使いこなすために」－「ディスプレイ」をご覧ください。
- ▶ このコネクタは充電と給電を切り替えることができます。詳しくは「取り扱い」－「USB Type-C 充電・給電ユーティリティ」をご覧ください。

3 HDMI 出力端子 (HDMI)

デジタルテレビや、デジタル接続の外部ディスプレイを接続します。

コネクタの形状によっては、隣接するコネクタと同時に使用できないことがあります。

詳しくは「取り扱い」－「HDMI 機器」をご覧ください。

4 USB3.2 (Gen1) Type-A コネクタ (電源オフ USB 充電機能対応) (🔌/🔌)

USB 規格の周辺機器を接続します。

接続した USB 機器の動作は、周辺機器や間に接続されている USB ハブやケーブルの性能に依存します。

電源オフ USB 充電機能については、「取り扱い」－「電源オフ USB 充電機能」をご覧ください。

コネクタの形状によっては、隣接するコネクタと同時に使用できないことがあります。

Type-C コネクタは、形状が異なるため接続できません。

5 マイク・ラインイン・ヘッドホン・ラインアウト・ヘッドセット兼用端子 (🎧)

外径 3.5mm のミニプラグに対応した市販のヘッドホン・マイク・ヘッドセットを接続します。また、設定を変更することで、マイク入力端子、ライン入力/出力端子、ヘッドセット端子としても使用できます。詳しくは「使いこなすために」－「サウンド」をご覧ください。

なお、この端子はハイレゾに対応しています。

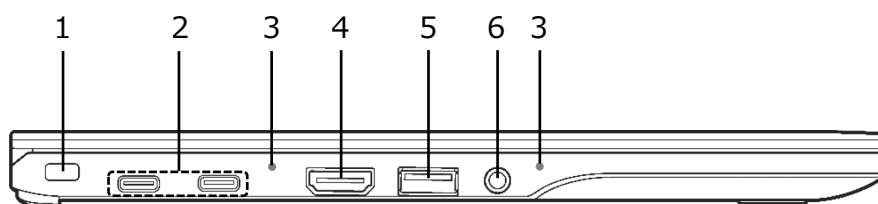
Point

- ▶ ハイレゾで音源を聴く場合、ハイレゾ対応イヤホン・ヘッドホンが必要です。
- ▶ ハイレゾで出力する場合、ハイレゾの音源が必要です。ハイレゾについては、「ハイレゾを楽しむ (<http://www.fmworld.net/fmv/func/hires/>)」でご紹介しています。こちらをあわせてご覧ください。
- ▶ CD などのディスクのハイレゾ音源には対応していません。

6 スピーカー

パソコンの音声を出力します。詳しくは「取り扱い」－「音量」をご覧ください。

■ LIFEBOOK UH-X/G2、UH90/G2、WU-X/G2、WU2/G2



(イラストは機種や状況により異なります)

1 盗難防止用ロック取り付け穴 (🔒)

市販の盗難防止用ケーブルを接続します。

2 USB Type-C コネクタ

添付の AC アダプタや USB 規格の周辺機器を接続します。

ご購入の装置によって次のいずれかが搭載されています。

- ・ Thunderbolt™ 4 USB4 (Gen3) Type-C コネクタ (⚡🔌)

LIFEBOOK UH90/G2

LIFEBOOK WU2/G2 の無線 WAN 搭載機種

- ・ USB3.2 (Gen2) Type-C コネクタ (🔌¹⁰🔌)

LIFEBOOK UH-X/G2、WU-X/G2

LIFEBOOK WU2/G2 の無線 WAN 非搭載機種

接続した USB 機器の動作は、周辺機器や間に接続されている USB ハブやケーブルの性能に依存します。

コネクタの形状によっては、隣接するコネクタと同時に使用できないことがあります。

Type-A コネクタは、形状が異なるため接続できません。



- ▶ USB Power Delivery 対応です（映像も出力できます）。
- ▶ Thunderbolt™ 4 が搭載されている場合は、USB Power Delivery 対応機器へ給電（最大 5V/3.0A）できます。
- ▶ USB3.2 (Gen2)が搭載されている場合は、USB Power Delivery 対応機器へ給電（最大 5V/1.5A）できます。
- ▶ USB Power Delivery 対応で 7.5W（5V/1.5A）以上を供給可能な機器であれば、パソコン本体に充電できます。パソコンを使用しながら充電する場合は、USB Power Delivery 対応で、Thunderbolt™ 4 搭載機種は 65W（20V/3.25A）以上、USB3.2 (Gen2)搭載機種は 45W（20V/2.25A）以上を供給可能な機器が必要となります。ただし、すべての対応機器の動作を保証するものではありません。
また、次のような場合は、パソコンを充電していてもパソコンのバッテリーが減ることがあります。
 - ・パソコンが動作している（高負荷処理を行っているなど）
 - ・接続機器への給電電力が大きい（消費電力の大きな機器を複数接続しているなど）
- ▶ 接続した USB 対応機器の転送速度（理論値）は次のとおりです。
 - ・ Thunderbolt™ 4 対応機器：最大 40Gbps
 - ・ USB3.2 (Gen2)対応機器：最大 10Gbps
 - ・ USB3.2 (Gen1)対応機器：最大 5Gbps
 - ・ USB2.0 対応機器：最大 480Mbps
- ▶ DisplayPort Alternate Mode 対応です。ただし、すべての DisplayPort の動作を保証するものではありません。
- ▶ USB Type-C コネクタを使った同時表示やマルチモニター表示などについては、「使いこなすために」－「ディスプレイ」をご覧ください。
- ▶ 本体前面側のコネクタは充電と給電を切り替えることができます。詳しくは「取り扱い」－「USB Type-C 充電・給電ユーティリティ」をご覧ください。
- ▶ 添付の AC アダプタは、どちらのコネクタに接続しても充電できますが、本体背面側のコネクタに接続することをお勧めします（本体前面側のコネクタは、前述の充電と給電の切り替えによっては充電されない場合があります）。

3 状態表示 LED

パソコンの状態を表示します（→P.17）。

4 HDMI 出力端子 (HDMI)

デジタルテレビや、デジタル接続の外部ディスプレイを接続します。

コネクタの形状によっては、隣接するコネクタと同時に使用できないことがあります。

詳しくは「取り扱い」－「HDMI 機器」をご覧ください。

5 USB3.2 (Gen1) Type-A コネクタ (電源オフ USB 充電機能対応) (🔌/🔌)

USB 規格の周辺機器を接続します。

接続した USB 機器の動作は、周辺機器や間に接続されている USB ハブやケーブルの性能に依存します。

電源オフ USB 充電機能については、「取り扱い」 – 「電源オフ USB 充電機能」をご覧ください。

コネクタの形状によっては、隣接するコネクタと同時に使用できないことがあります。

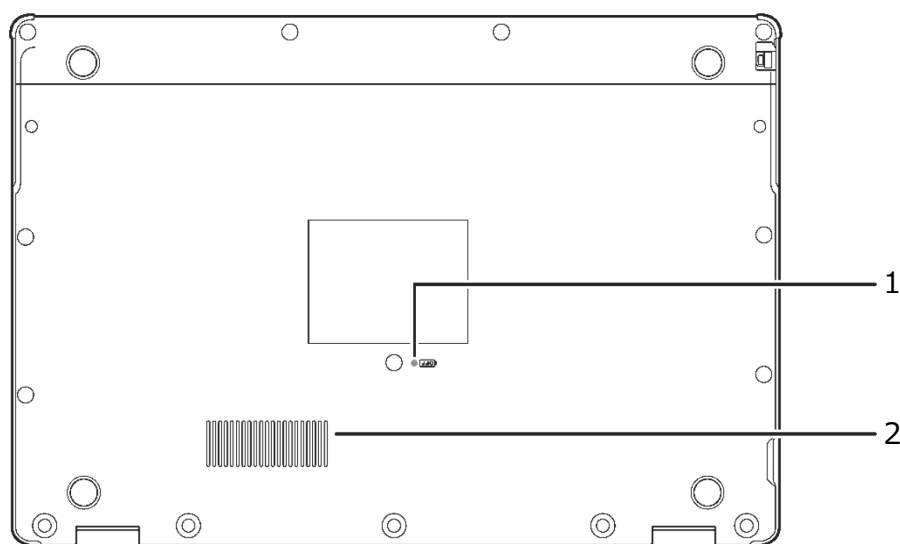
Type-C コネクタは、形状が異なるため接続できません。

6 マイク・ラインイン・ヘッドホン・ラインアウト・ヘッドセット兼用端子 (🎧)

外径 3.5mm のミニプラグに対応した市販のヘッドホン・マイク・ヘッドセットを接続します。また、設定を変更することで、マイク入力端子、ライン入力/出力端子、ヘッドセット端子としても使用できます。詳しくは「使いこなすために」 – 「サウンド」をご覧ください。

パソコン本体下面

■ LIFEBOOK WU3/G2



(イラストは機種や状況により異なります)

1 OFF ボタン (OFF)

電源ボタンで電源が切れなくなったときに使用します。

AC アダプタを取り外し、クリップの先などを差し込んで押すと、パソコンの電源が切れます。

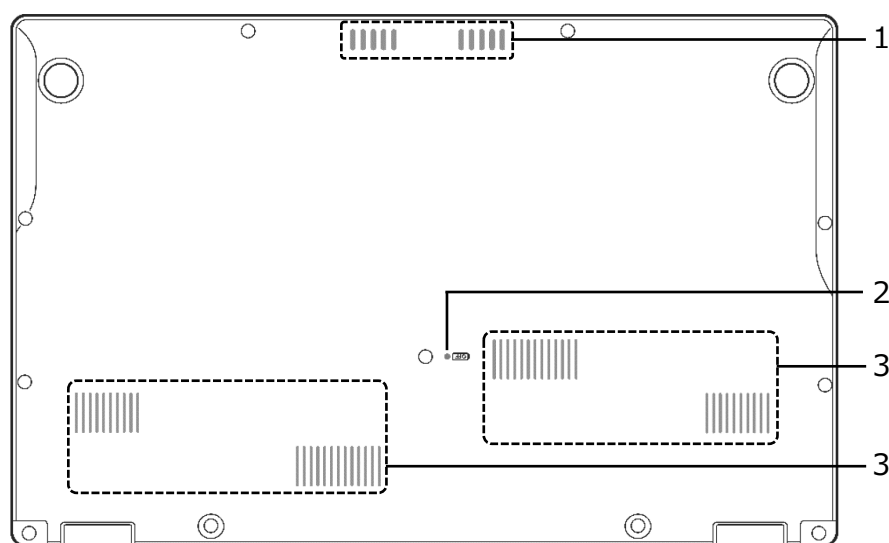
Point

- ▶ クリップの先などを差し込むときは、できるだけ垂直に、堅い物を押す感覚があるところまで差し込んでください。
- ▶ OFF ボタンで電源を切った後、最初にパソコンの電源を入れるときには、必ず AC アダプタを接続した状態で電源ボタンを押してください。AC アダプタを接続しないとパソコンの電源が入りません。AC アダプタを持たずに外出したときなど、AC アダプタを利用できない状況ではご注意ください。

2 吸気孔

パソコン本体内部に空気を取り込みます。

■ LIFEBOOK UH-X/G2、UH90/G2、WU-X/G2、WU2/G2



(イラストは機種や状況により異なります)

1 スピーカー

パソコンの音声を出力します。詳しくは「取り扱い」－「音量」をご覧ください。

2 OFF ボタン (OFF)

電源ボタンで電源が切れなくなったときに使用します。

AC アダプタを取り外し、クリップの先などを差し込んで押すと、パソコンの電源が切れます。



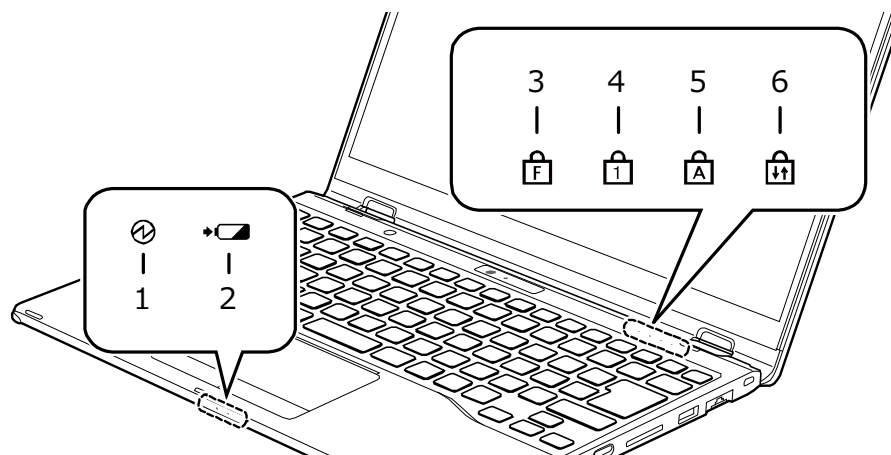
- ▶ クリップの先などを差し込むときは、できるだけ垂直に、堅い物を押す感覚があるところまで差し込んでください。
- ▶ OFF ボタンで電源を切った後、最初にパソコンの電源を入れるときには、必ず AC アダプタを接続した状態で電源ボタンを押してください。AC アダプタを接続しないとパソコンの電源が入りません。AC アダプタを持たずに外出したときなど、AC アダプタを利用できない状況ではご注意ください。

3 吸気孔

パソコン本体内部に空気を取り込みます。

状態表示 LED

■ LIFEBOOK WU3/G2



(イラストは機種や状況により異なります)

1 電源ランプ (ⓐ)

電源の状態を表示します（「取り扱い」－「電源の入れ方／切り方」－「電源ランプの状態」）。

2 バッテリステータスランプ (➡🔋)

詳しくは「取り扱い」－「バッテリー」－「充電状態や残量の確認」をご覧ください。

- ・ AC アダプタ接続時
バッテリーの充電状態を表示します。
- ・ AC アダプタ未接続時
バッテリー残量、およびバッテリーの状態を確認することができます。

3 F Lock ランプ (Fn)

F Lock 機能がオンのときに点灯します（→P.18）。

点灯時は、**[Fn]**を押さずにファンクションキーを押すだけで、枠で囲まれた刻印の機能を使用できます（→P.20）。

4 Num Lock ランプ (Num)

キーボードがテンキーモード（→P.21）のときに点灯します。点灯時は、「テンキーになるキー」で数字や記号を入力できます。

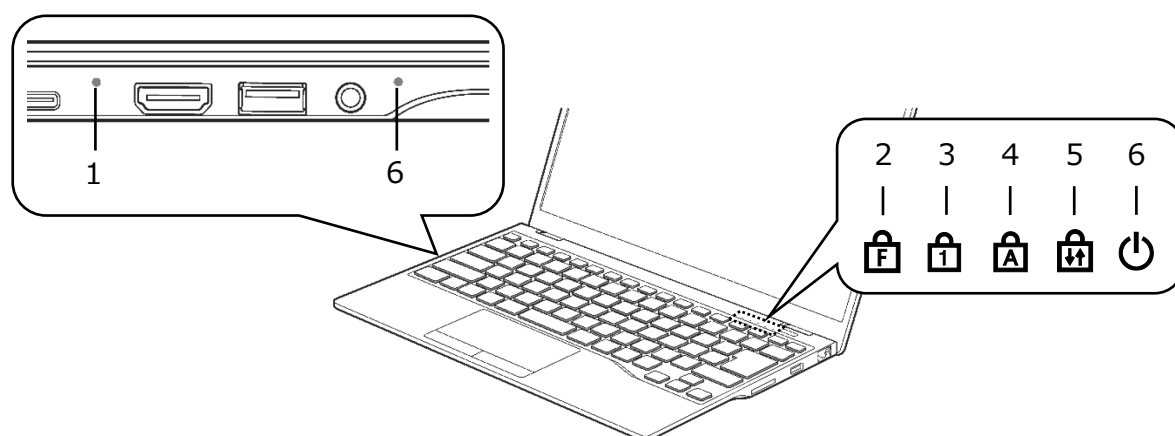
5 Caps Lock ランプ (Caps)

英大文字固定モード（英字を大文字で入力する状態）のときに点灯します。

6 Scroll Lock ランプ (Scr Lk)

[Fn]を押しながら**[Scr Lk]**を押したときに点灯します。点灯中の動作は、アプリによって異なります。

■ LIFEBOOK UH-X/G2、UH90/G2、WU-X/G2、WU2/G2



(イラストは機種や状況により異なります)

1 バッテリステータスランプ (→🔋)

詳しくは「取り扱い」－「バッテリー」－「充電状態や残量の確認」をご覧ください。

- ・ AC アダプタ接続時
バッテリーの充電状態を表示します。
- ・ AC アダプタ未接続時
バッテリー残量、およびバッテリーの状態を確認することができます。

2 F Lock ランプ (Fn)

F Lock 機能がオンのときに点灯します (→P.18)。

点灯時は、Fn を押さずにファンクションキーを押すだけで、枠で囲まれた刻印の機能を使用できます (→P.20)。

3 Num Lock ランプ (Num)

キーボードがテンキーモード (→P.21) のときに点灯します。点灯時は、「テンキーになるキー」で数字や記号を入力できます。

4 Caps Lock ランプ (Caps)

英大文字固定モード (英字を大文字で入力する状態) のときに点灯します。

5 Scroll Lock ランプ (Scr Lk)

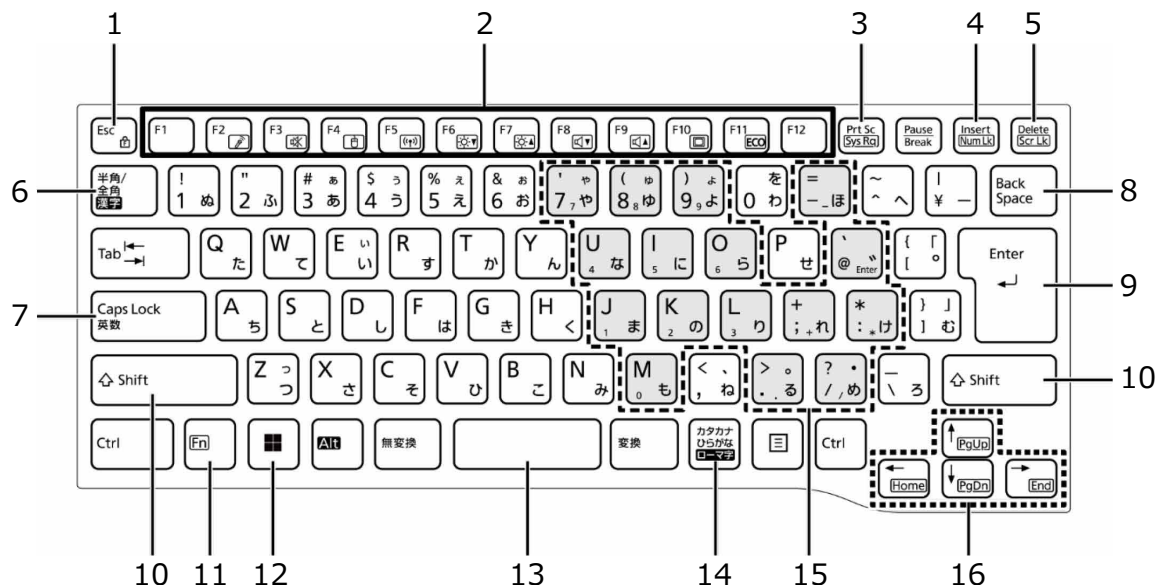
Fn を押しながら Scr Lk を押したときに点灯します。点灯中の動作は、アプリによって異なります。

6 電源ランプ (🔌/🔌)

電源の状態を表示します (「取り扱い」－「電源の入れ方／切り方」－「電源ランプの状態」)。

キーボード

LIFEBOOK UH-X/G2、UH90/G2、WU-X/G2、WU3/G2、WU2/G2



(イラストは機種や状況により異なります)

Point

- ▶ かな刻印なしのキーボードを選択した場合、かな文字は刻印されていません。
- ▶ LIFEBOOK WU3/G2 をお使いの場合、ノートブックモード以外ではキーボードは使用できません(「取り扱い」－「タブレットモード」)。

1 Esc キー

- ・ このキーだけを押すと、現在の作業を取り消します。
- ・ F Lock 機能
 [Fn] を押しながらこのキーを押すごとに、F Lock 機能のオン／オフを切り替えます。
 F Lock 機能をオンにすると、[Fn] を押さずにファンクションキーを押すだけで、枠で囲まれた刻印の機能を使用できます(→P.20)。

Point

- ▶ F Lock 機能は、Windows が起動している場合にのみ使用できます。Windows 起動前および BIOS セットアップでは、F Lock 機能は使用できません。

2 ファンクションキー

アプリごとにいろいろな機能が割り当てられています。枠で囲まれた刻印の機能は、**[Fn]**を押しながらファンクションキー（F Lock 機能（→P.18）がオンの場合はファンクションキーだけ）を押して使います。

Point

- ▶ F Lock 機能がオンのとき、アプリごとに割り当てられた機能を使用する場合は、**[Fn]**を押しながらファンクションキーを押します。

3 Prt Sc キー

画面に表示されている内容を画像としてコピーできます。

4 Num Lk キー

[Fn]を押しながらこのキーを押すと、テンキーモード（→P.21）になります。もう一度押すと解除されます。

5 Delete キー

カーソルの右側にある 1 文字を削除します。

6 半角／全角キー

このキーを押すごとに、半角入力／全角入力を切り替えます。全角入力にすると、日本語を入力できます。

7 Caps Lock キー

[Shift]を押しながらこのキーを押して、英大文字入力／小文字入力を切り替えます。

8 Back Space キー

カーソルの左側にある 1 文字を削除します。

9 Enter キー

入力した文字を確定したり、改行したりします。

10 Shift キー

このキーを押しながら文字キーを押すと、キーの上段に刻印されている記号を入力できます。

11 Fn キー

[Fn] を押しながら、枠で囲まれた刻印のあるキーを押すと、それぞれのキーに割り当てられた機能を使用することができます。

[Fn] + [F2] マイクの ON/OFF を切り替えます。

[Fn] + [F3] 音声出力の ON/OFF を切り替えます。

[Fn] + [F4] フラットポイントの有効／無効を切り替えます（「使いこなすために」－「フラットポイント」－「フラットポイントの有効／無効の切り替え」）。

[Fn] + [F5] 本パソコンの内蔵アンテナを使用する無線通信機能の電波の発信／停止を切り替えます（「使いこなすために」－「通信」－「無線通信機能の電波を発信する／停止する」）。

[Fn] + [F6] 画面を暗くします。

[Fn] + [F7] 画面を明るくします。

[Fn] + [F8] 音量を小さくします。

[Fn] + [F9] 音量を大きくします。

[Fn] + [F10] 外部ディスプレイを接続した場合に、パソコン本体のディスプレイと外部ディスプレイで表示先を切り替えます。

[Fn] + [F11] Windows の「バッテリー」ウィンドウが表示されます。

[Fn] + [Home] カーソルを行の最初に移動します。

[Fn] + [Ctrl] + [Home]

文章の最初に移動します。

[Fn] + [Pg Up] 前の画面に切り替えます。

[Fn] + [Pg Dn] 次の画面に切り替えます。

[Fn] + [End] カーソルを行の最後に移動します。

[Fn] + [Ctrl] + [End]

文章の最後に移動します。

Point

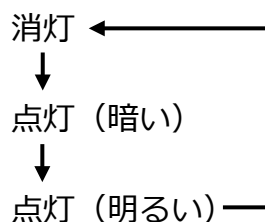
- ▶ ファンクションキー（→P.19）は、F Lock 機能（→P.18）がオンの場合、ファンクションキーを押すだけで、枠で囲まれた刻印の機能を使うことができます。

12 Windows キー

「スタート」メニューを表示したいときに押します。

13 空白 (Space) キー

- ・ 文字を入力するときに、空白（スペース）を入力します。
- ・ キーボードバックライト搭載機種の場合、**[Fn]** を押しながらこのキーを押すごとに、キーボードバックライト（キーの印字および周囲のライト）の点灯／消灯が次のように切り替わります。



Point

- ▶ キーボードバックライト搭載機種の場合、このキーに **[Fn]** が刻印されています。
- ▶ スリープから復帰（レジューム）した後や、電源を切って入れ直した後も、キーボードバックライトの点灯／消灯は元の状態が維持されます。
- ▶ キーボードバックライトは暗い場所でもキーボードを操作しやすくするための機能です。周囲の明るさに合わせて点灯／消灯を切り替えてお使いください。

14 カタカナ／ひらがなキー

[Alt] を押しながらこのキーを押して、ローマ字入力／ひらがな入力を切り替えます。

15 テンキーになるキー

テンキーモードのときに、テンキーとして使えるキーです。

16 カーソルキー

カーソルを上下左右に移動します。

Point

- ▶ テンキーモードとは、文字キーの一部をテンキー（数字の入力を容易にするキー配列）として使えるように切り替えた状態のことです。テンキーモードのときは、状態表示 LED の Num Lock ランプが点灯します。
テンキーモードで入力できる文字は、「テンキーになるキー」の下段に小さい文字で刻印されています。
かな刻印なしのキーボードを選択した場合、小さい文字は刻印されていません。テンキーになる各キーは、それぞれ次の文字に対応しています。

テンキーになるキー	M	J	K	L	U	I	O	7	8	9	.	/	;	:	-	@
入力される文字	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	.	/	+	*	-	[注]

注： **[Enter]** と同じように機能します。

マウス

Bluetooth マウス添付機種のみ

マウスの使い方について、詳しくは「取り扱い」－「マウス」をご覧ください。



(イラストは機種や状況により異なります)

1 左ボタン

クリックするとき押します。

2 スクロールホイール

- ・ ホイールを回すと、画面を上下にスクロールできます。
- ・ ホイールを左右に倒すと、左右にスクロール（水平スクロール）できます。
- ・ ホイールを押したときの動作は、アプリごとに異なります。

3 右ボタン

右クリックするとき押します。

4 状態表示ランプ

マウスの電池の消耗状態やパソコンとの認識状態が表示されます。

5 電池ボックス

単4形電池を2本入れます。

6 電源スイッチ

マウスの電源を入れたり切ったりします。

7 CONNECT ボタン

マウスをパソコンに再認識させるときに押します。詳しくは「取り扱い」－「マウス」－「マウスをパソコンに再認識させる」をご覧ください。